



114
A2511



要スル所アリ
 是レ余カ嚮ニ進ニセシ記載書中ニ論述セシ所ハ凡ソ人
 氏ヨリ政府一對シ請求願訴スルヲ得ヘキ件ニラ掲示レ
 テ以テ政府ノ責ニ注スル場合ト各自一箇ノ官負ノ責ニ
 注タル場合トニノミ止マリレト云フ一ヲ弁セシムハア
 ルベカラス然レ氏又少別ニ右ニ殊ナル所ノ他ノ場合ア
 リ即チ政府ト其臣下タル人民トノ間ニ起ル所ノ審判ア
 リ喻ヘハ租税ノ事件ニ付テ興レル場合又ハ政府時宜ニ
 ヲリ強抑シテ人民ノ田地家屋等ヲ取テ以テ公有ト為ス
 ノトキニ當リテ之レカ贖金ヲ為スヘキノ場合是レナリ
 而シテ其場合タル固ヨリ相ヒ異ナラサルヲ得サルナリ

政府裁判ノ權ヲ記載スルニ當ニ先ツ一言ヲ

大正十一年四月
侯爵郵寄贈



如何トナレハ官吏ノ政府ニ於ケルト人民ノ政府ニ於ケル
ルト其關係自カラ異ナル所アレハナリ訂ケ人民ノ政
府ニ於ケルハ其租税ニ付テ喫ニス同著又ハ其所有物ヲ
要取セラル、如キ場合ニシテ官吏ノ政府ニ於ケルハ其
過誤失錯責任ヲ繆ニス等ノ如キ場合ナレハ自カラ其事
柄相ニ異ナラサルヲ得サルナリ
此審判ナル則テ判事ノ裁判ニ由ラズシテ別ニ委任行法
官ノ処分ヲ得テ可ナルノ場合ナリ(官吏私欲不生ナリ)
生ズルノ場合ハ此例ニアラズ然リ而シテ(論述ノ序ナル
ヲ以テ今茲ニ行文ノ間ニ於テ一言スルニ)英國ニ於テハ
凡ノ政府ノ租税上ニ関スル一切ノ審判ハ別ニ一種ノ法
官ヲ設置シテ之レニ委任セリ
人民ニ於テ政府ニ對シタル請求ノ審判スルノ裁判

所ヲ設立スル事

今此處ニ於テ考定スベキ問題二項アリ之レヲ下條ニ標
掲ス

第一項人民ヨリ請求スル主旨ハ審判ヲ要スルヤ否ヤ
ヲ審判スルハ如何ナル法庭ニアルヤト云フ問題
ナリ

第二項既ニ其請求ノ審判ヲ要スル主旨アリト認めラ
ル、ニ於テハ如何ナル法庭ノ其請求ノ果シテ理
ルヤ否ヤヲ審判スヘキヤト云フ問題ナリ

英國ニ於テハ既ニ是レ迄テ精シク説明シタル如ク第一
ニ君主ノ輔相(按ユルニ)該國ノ内務卿(タルモノ先
ツ必ス請求ノ主旨法律上裁判ヲ許スヘキヤ否ヤ
ヲ判決シ而シテ後ニ其許ス所トナルモノハ規則

通リニ通常ノ民法裁判所ニ於テ其邪正ヲ審判スルヤリ

併國ニ於テハ其方法全ク英國ト異ナレリ人民ノ政府ニ對シテ請求スルヤ必ズ先ツ其レニ係累シタル官省ノ長官ニ訴フ若シ地方官ニ對シテ請求スルノ場合アルトキハ其州ノ主領又ハ其州ノ議院ニ訴フ但シ此ノニツノ場合ニ於テ若シ其所為不當ト思フキハ之レヲ人民ノ行政輔相議會ニ越訴スルノ權アリ

其行政輔相議會ハ行政府ヲ扶助輔相スルモノニシテ其議官ハ政事上ニ於テ意見ヲ加ヘ喙ヲ入ルニ國君ノ之レヲ任擢シタルモノニシテ權勢最モ重シ又此ノ法官中ヨリ擢用シ一種ノ法官ヲ設

置レ以テ永久之レニ任スルニ人民ヨリノ越訴ヲ審判スルノ職事ヲ以テセルアリ

米國ニ於テハ予カ知ル所ニ於レテ政府ト人民トノ間ニ起レル紛議ヲ審判スル為メニ預カレメ一種ノ法定ヲ設置シ之レヲシテ人民請求ノ主旨ヲ審判セシメリ而シテ其判事タル者ハ他ノ判事ト位置有様ヲ同クシ而シテ亦シ他ノ判事ト同ク約束ヲ以テ奉職シタル法律家ヲ擢ンテ之レニ任スルナリ然レバ又テ政府自カラ一ノ防禦者ヲ以テ政府ヲ護衛スルヲテリ是レ英國ノ請求防禦者按スルニ君主ノ輔相ニ稍々類似シタルモノナリ此ノ防禦者ヲ用ニルニ法庭審問ノ前ニ用ヒズレテ審判ノ後ニノミ用ニルナリ蓋シ法庭既ニ請訴ヲ審判ス

ルモ(人民ノ代議院)ノ許可ヲ得ルニアラザレハ事
決シ終ラサルカ故ナリ

〔按スルニ政府ノ防禦者ヲ用ニル怪シム可キカ如
レト虽氏是レ即チ點首輕拳廢クヲキノ心ヲ抑ハ

政府ヲ維持スル職ヲ置クナリ然レ氏談職タル又
シ大ニ衆庶ノ領意ヲモ呈張レ國勢ヲ振興スルノ

任アルナリ〕

前文論スル所ノ三法ニ由テ觀レハ政府人民ノ輕拳不正

ノ請求ヲ防キ國家ヲ保護セントスルニ意ヲ注クヤ晰然

クリ何ントナレハ各國其才法ヲ異ニスト虽氏其人民輕

拳不正ノ請求ヲ防キ政府ヲ保護セントスルノ目的ニ至

テハ方レモ異ナルナリ

然ラハ則チ人民輕拳ノ請求ヲ防キ國安ヲ謀ルノ目的ニ

歸スル以上ハ其政府ニ危難最モ少クテ其ノ人民ヲ

レテ充分ニ其正理ノアル所ヲ達セ使ムルニハ如何ナル

方法ヲ用ニヘキヤ此ノ問題ヲ論辯鮮明セシムハアル可

カラサルナリ

今之レヲ論辯鮮明センカ為メニ吾曹ヲレテ三法ノ異說

ヲ參考シ簡ニ其利害得失ヲ論究セシムベシ

英國法制ノ弊害ヲ拳クレハ即チ左ノ如シ

第一英國ノ法タル第一ノ場合(即チ最初ニ人民ヨリ政府

ニ對シ請求スルノ主旨ハ審判ヲ要スルヤ否ヤヲ

審判スルニ當リテ)ニ於テ行政官ニ権力ヲ与フル

大ナルカ故ニ其弊ヤ必ス人民ノ請求ヲ拒ンテ其

是非ヲ正サスレテ之レヲ棄絶スルナラズルベキナ

是ナリ

其二

訴願ヲ受理スルト受理セサルト最初ニ判決スルノ權ヲ卿(業スルニ内務卿ノコナラン)ニ委任スル事是レナリ是レ其卿ハ固ヨリ其属官ト虽モ苟モ斯ル主務外ノ職分ヲ令クスニ是ル一キ特別ノ能カヲ有スルモノニアラサルヲ以テ然リトス

英國法制

其一

凡ソ公務上ニ於テ起レ事ハ其事理ノ曲直ニ依リ法庭ニ於テ之レヲ審案シ其法庭ノ裁判官ハ苟モ其事ニ関係ナキモノニシテ能ク裁判ノ事曲ニ通曉レ且ツ行政官ノ統轄スル所ニアラサル事是レナリ

其二

審案ノ手續裁判官ノ性質ホ夫レ斯ノ如キヲ以テ唯純然ナル正義公道ニ於テ以テ事ヲ裁決スルナ

大義首

是レナリ

佛國法制ノ弊害ヲ奉クレハ即チ左ノ如シ

凡ソ公務工ニ於テ起リシ諸事件ハ法庭ニ於テ之
レヲ審案シ其法庭ノ裁判官ハ其事ニ關係アリ己
ノ利害得失ヲ顧ミルニ及ビトシ法律工ハ固ヨリ
裁判工ノ慣習ニ淫マス判サヘ行政官ノ所轄内ニ
アル事足レナリ

佛國法制ノ利得ヲ奉クレハ即チ左ノ如シ

夫レ佛國裁判官ノ如キハ行政官ノ所轄内ニアリ
其進退黜陟ハ皆行政官ノ總理スル所ナリ故ニ此
法制ヲ以テ政府ヲ保護スルノ極ノテ多クヤカ故
ニ政府ニ取リ益スルノ頗フル大ナリ然リ然レモ
正義公道工ヨリ之レヲ論スレハ佛國ノ法制タル

其功德タル所ハ獨リ審案ノ入賞ボ低賤ナル而已

亞米利加國ノ法制ノ弊害ヲ奉クレハ即チ左ノ如シ

其一 亞米利加國ニ於テハ恰カモ英國ニ於ケルカ如ク
随意ニ訴願ヲ拒絶スルノ權ヲ國會ニ委任セシメ
是レナリ

其二 裁判所ニ於テ裁決セシ訴願ヲモ國會之レヲ拒絶

レ為ノニ訴願人ニ損害ヲ被ムラレハルニ是レナ

リ
若シ夫レ訴願ノ主旨全ク拒絶スヘキモノナレハ其出訴
ノ時既ニ之レヲ拒絶シ審案ノ勞及々其時且費用ボク空
費セシメサルコトヲ奈被何レニ取リテモ得策ナルヘシ
亞米利加國ノ法制ノ利得ハ恰カモ英法ノ利得ト同一ナ
リ故ニ復タ贅セス

以上開陳セレ英國ノ法制ニ関シテ令亦左ノニケテ付
テ論及セン

第一 凡ソ英國ノ如キ政体ノ國ニ於テハ仮令ニ前文ノ
如ク判決ノ權ヲ内務卿ニ委任レ内務卿隨意ニ其
權ヲ使用スルノ危険アリト雖モ是レ真ノ危険ニ
アラスレテ其實ヲ云ハバ此權ハ唯有名無実ノモ
ノナルト是レナリ其然ル所以ノモノハ他ナレ苟
モ此權ヲ妄用スルアレハ忽ケ此權ヲ奪ハル、ノ
徴候トナレハナリ

第二 實際工内務卿ハ出訴アルニ當テ法律工ニ據リ其
請求スル所ノモノハ許願スヘキ理由ヲキ旨ヲ以
テ之レヲ拒絶スルヲ極ノテ稀ナルト是レナリ
到底法律工ニ據リ許願スヘキ理由ノ有無ヲ論スルカ如

キハ如何ナル事件ヲ於テモ專ラ法律工ノ問題ニ属スル
ヲ以テ先ツ内務卿ハ其許願ヲ受理シ以テ之レヲ法院ニ
差送ルモノトス然ルニテ其許願タル若シ受理スヘカ
ラナル性質ノモノナレハ之レノ下戻スモノトナス
英國ノ法制ハ夫レ斯ノ如シト雖モ余ヲ以テ之レヲ觀ル
ニ諸許願請求トモ其出訴セシ時真ニ豫審ヲ為スヲ以テ
原級何レニ取リテモ有益ノモノナリトス然ラハ斯ノ如
キ豫審ヲ行フノ良法ヲ設クルハ第一ノ目途トスル所ナ
リ

第一ノ目的トスル所ハ夫レ斯ノ如キヲ以テ余敢テ一言
ヲ陳レ以テ立法行政及ヒ司法ノ三部ヨリ官負ヲ選抜レ
テ常備ノ委員ヲ命任テランコトヲ忠告ス
此委員ノ職務ハ凡ソ政府ニ對シ許願スル所ノ諸請求ニ

付豫審ヲ為シ第一ニハ其請求ナル許容スヘキモノカ許
容スヘカラサルモノカ第二ニハ其請求タル許願スヘキ
余理アルモノカ余理ナキモノカ且ツ又此ガ許容ノ如何
余理ノ有無ナル二者何レニ付テモ左ニテ精密ニ點檢調
査セシテ一日瞭然受理スヘキモノニシテ余理アル諸
訴願ナレハ之レヲ法庭ニ差廻シ審案セラルニアリ
令日本ニ於テ其裁判工ノ現状ニ於テ通常ノ裁判所ヲシ
テ政府ニ関スル事件ヲ審案スルノ法庭ト定ムルコトヲ不
都合ナリトセハ此ガ諸事件ヲ現ニ審案スル為メ更ニ
一個ノ裁判所ヲ創立スルノ外他ナシ而シテ之レヲ創立
スルニ當リテハ既ニ前文ニモ反覆弁論セシカ如ク宜ク
左ノ三要點ヲ心中ニ念スヘキモノトス即チ第一ニハ斯
ル裁判所ノ裁判官タル者ハ苟モ愛憎ノ心ナク己ノ利害

得失ガヲ顧ミサルコト第二ニハ聰明鋭智能ノ其任ニ堪ユ
ルコト第三ニハ其身全ク不羈獨立ナルコト是レナリ是レ裁
判所創立ニ付テ余カ卑見ヲ吐露シ得ル所ノモノ而已
余カ傳聞スル所ヲシテ果シテ信ナラシメハ仮令今日
ノ裁判所ヲレテ政府ニ関スル諸事件ヲ審案裁決セシム
ルモ其裁判官ノ任官ノ性質工ヨリ之レヲ看レハ佛國ニ
於テ政府ニ関スル諸事件ヲ処分スル裁判所ノ如ク全様
ノ弊害ヲ来スナラン按スルニ佛國ノ如キハ我日本ト均
レク太政官ヨリ裁判官ヲ命スルヲ以テ自然行政工ニ関
スル事件ガ審案裁決スル時ニ當テハ己ノ利害得失ボ
ヲ頭ニ公明正大ノ処分ヲナサハルノ弊害アルヲ云フナ
ラン若シ帝王ヨリ直チニ之レヲ命スルバハ此ガ弊害
ナカルヘシ是レ英國ノ裁判官タルモノ苟モ己ノ利害得

失ゴク願ミス公明正大ノ裁決ヲ為ス所以ナリ
扱又如何ナル事件ニテモ公務上ニ於テ起リ其事ニ引合
アル官廳ハ前各ノ常備委員若シクハ又前各ノ裁判所ハ
其代理人ヲ差出スノ程度制限及ヒ其差出方ノ手續ノ如
キ此ガ詳細ノ事ニ至テハ尚此ガ事ヲ陳述スヘキ命ヲ
奉スルニアラサレハ論及セサルヘシ又控訴ノ事裁判カ
訴願人ノ勝利ニ決レタル時其請求訴願スル所ノモノヲ
訴願人ニ領收セシムル事其他全様ノ事件ニシテ他日前
ニ云フ所ノ裁判所設置ノ大本ヲ議決スル時ニ當リ思慮
セサルヘカラサル所ノモノ、如キモ更ニ尊命ヲ奉スル
ニアラサレハ論及セス

千八百七十八年

三月六日

ロベルト・ビーデン